

《 みんなの手で
再び花の風景を 》

2022 年 10 月 27 日

2022 年度 VOL. 1

市民協働 はじめの一歩 スイセンの球根を植栽します

岩手県立高田松原津波復興祈念公園では、11月3日（木・祝）に市民協働で震災遺構「タピック45」の国道45号沿いにスイセンの球根を植栽します。震災後、復興のために地元内外から寄贈を受け植えられたスイセン。公園整備や道路のかさ上げ工事に伴い、2016年（平成28年）10月に掘りあげられ、別の場所で育てられていたものが、6年ぶりに戻ってきます。



植栽予定地 （2022 年 10 月 24 日撮影）

◆新しい街の風景に再びスイセンを

市民、NPO、企業など多様な主体が参加・協働できる場として位置づけられている当公園。新しく整備された街の風景の中に、再びスイセンの花を咲かせられたらとの思いを受け、工事期間中も地域のみなさんの手により大切に守り育て続けられたスイセンを、市民協働の取組の一環として公園内に植栽します。

- 日時／11月3日（木・祝） 9:30～11:00 ■場所／震災遺構「タピック45」国道45号側
- 参加費／無料 ■持ち物／軍手、スコップ（お持ちの方）
- 受付／当日受付 ※問合せ先（TEL:090-6255-6790 Green Fields 吉川）
- 集合／国営追悼・祈念施設駐車場（タピック45側砕石駐車場）
- 主催／陸前高田花の会 共催／NPO法人 Green Fields、陸前高田フラワーロードを応援し隊！
- 協力／村上園芸、高田松原津波復興祈念公園マネジメント共同体



里親の圃場で咲くスイセン（2020 年春撮影）

◆フラワーロードの始まり

1994年（平成6年）4月に設立された「フラワーロード陸前高田」。代表の鈴木勝井さんを中心にスタートした活動は、市民の協力の輪を広げ、国道45号線沿い1kmにわたって花壇を整備。1万5千株の花が市民を楽しませてきましたが、震災の津波で全て流失してしまいました。

◆鎮魂と未来へ願いを込めて

2011 年（平成 23 年）11 月、フラワーロードは復活を果たします。「希望の花いわて 3.11 プロジェクト（NPO 法人 Green Fields の中で継続）」により開催されたイベントに、総勢 150 人が参加。オランダのガーデンデザイナー、ジャクリーンさんデザインの花壇は、震災後の市民の心を和ませてくれました。



「高田松原メモリアルロードプロジェクト」
（2011 年 11 月 4 日撮影）